

日本語コミュニケーション (Communication in Japanese)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	選択	4年	1	講義	一色誠子

【授業の概要】

本講義では、読む・書く・話す・聴く・考える の五つの力を意識した、日本語によるコミュニケーションの基礎を身につけることを目的として、以下のことを実施する。
 様々なコミュニケーションツールの中から、「バズセッション」「グループディスカッション」「ディベート」を実践をする。いずれも、「思考を表現」していく過程で、コミュニケーション力(「ことば」と「こころ」と「思考」のキャッチボール)を身につけていくことを目指す。
 (注意事項)この授業は、半期で完結。前・後期に同様の内容を実施。

【授業の進め方】

講義を通してコミュニケーションの知識を備えた上で、実践をしていく。まず、人前で話す事に慣れるための簡単なトレーニングから入る。「バズセッション」「グループディスカッション」「ディベート」では、その特徴を座学で学習し実践を繰り返す。その中で、各自が自己の課題点を見つけ出し次回に結びつけていくこと(スキルアップ)を求める。なお、スキルアップの確認は、学習シートで行えるようになっている。また、最後の時間には授業のまとめとしてレポートを作成する。授業の内容を明らかにし確かな学習履歴を残すために、学習シートは毎時間提示する。
 また、日本語の運用能力を確認するため、「日本語検定」の受検を奨励する。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】
1回	コミュニケーションとは？ コミュニケーション能力自己診断	1. コミュニケーションの様々なツールについて 2. 「話術」と「プレゼンテーション」の違いを学習する 3. コミュニケーション・センスを向上させるポイントの解説
2回	「コミュニケーションする」身体作り	1. 視線に慣れるには(体感ゲーム&視線の交差点) 2. 距離感をつかもう！(ハイタッチ&ミニタッチ) 3. レスポンスの実験
3回	「コミュニケーションする」身体作り	朗読による、ボカール・バラエティーとボイストレーニングの実践。(音楽テープを使用)
4回	「コミュニケーションする」身体作り	1. 伝える力を意識する(伝言ゲーム他) 2. コメント力を鍛える(スピーチ&アドバイス)
5回	説得力のある話し方・相手を納得させる話し方とは	45秒CM(グループワーク)
6回	グループディスカッションの形態 バズセッション その1	1. グループディスカッションの様々な形態について 2. バズセッションの実践 その1
7回	グループディスカッションの形態 バズセッション その2	1. バズセッションの実践 その2 2. スキルアップするための、ワンポイント・アドバイス 2. ディスカッションに必要な準備についての説明と、グループ分け
8回	グループディスカッション	ディスカッションの課題は、前の週に発表する。各自、事前準備としてメモを作成してくること。メモは、学習シートに書き込む形式になっている。これを用意すると、発言しやすくなる。
9回	グループディスカッション	同上
10回	グループディスカッション	同上
11回	グループディスカッション 【グループ・マッピング】あり	同上
12回	ディベートとは？ ディベートマッチ	1. ディベートに関する予備知識 2. ディベートマッチにチャレンジ！
13回	ディベートマッチ	ディベートマッチにチャレンジ！（課題は、事前に発表する。準備をしてこること）
14回	ディベートマッチ	ディベートマッチにチャレンジ！（課題は、事前に発表する。準備をしてこること）
15回	よりよいコミュニケーションをするために必要なこととは？	「コミュニケーション」に必要なこととは何か、「コミュニケーション・センス」を向上させるためにはどのようにすればよいのかを考える。(レポート作成)

【到達目標】	「スピーチ」「プレゼンテーション(基礎)」「グループディスカッション」「ディベートマッチ」は、基礎的な知識を学習した上で実践に移る。また、実践・実作を通して、各自がスキルアップをすることを目標とする。					
【徳山高専学習・教育目標】	A 2		【J A B E E 基準 1(1)】		f	
【評価法】	(1) グループディスカッション等の実践と最終レポートで総合評価する 最終評価 = (グループディスカッション等の実践 80% + 最終レポート 20%) (2) グループディスカッション等の評価: 実践のための準備メモ 50%、マナー 20%、積極的且つ有効な発言(ギャラリーの時は、学習シートに記した実施グループへのコメントを評価の対象とする。) 30% / 回数 (3) レポート評価: A + (90) A (85) A - (80) B + (75) B (70) B - (65) C + (60) C (55)					
【テキスト】	刊行されているテキストは、使用しない。ただし、授業時に提示する「学習シート」「プリント」「各自の実践記録」を、ファイルに綴じていくことで一冊のテキストになる。それを見据えての、授業の組み立てと準備をしているので心配はいらない。					
【関連科目】	国語総合 II (3年生)					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】